

図書だよ

勿来第一中学校 2017.7月号

待ちに待った夏休みがもう目の前ですね。中学生の皆さんは、受験勉強や部活動など、夏の間も大忙しだと思います。2017年かけがえのない夏、悔いのないよう頑張るって、充実した夏をお過ごしください。2学期にまた皆さんに会える日を楽しみにしております。
[学校司書 佐々木]

【 夏休みの読書感想文の本をお探しの方へ 】
図書室には学年ごとの「おすすめ本」をたくさん
ご用意しております。是非ご利用ください！



お知らせ

学級文庫の貸し出し

7/12 (水) までに図書委員さんが確認のうえ
まとめて図書室に返却をお願いします

通常の個人への貸し出し

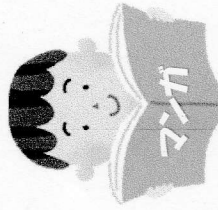
7/7 (金) までに図書室に返却をお願いします

夏休みの貸し出し：一人3冊まで

7/10 (月) ~ 7/18 (火) の間に貸し出します。
返却は夏休み明けの 8/30 (水) までをお願いします。

今回、高濱校長先生より、読書に対する熱い思いを寄稿していただきました！

高濱校長先生のお話



昭和の時代には、小説やマンガを1日50円程度で貸すお店があちこちにありました。私の実家は、そんな貸本屋と文具店を兼ねた店で、絵本の代わりにマンガで文字を覚えしました。

マンガ雑誌は、少年向けも少女向けもほとんど目を通していました。サンデー、マガジン、キング、チャンピオン、ジャンプ、りぼん、なかよし、マーガレット、少女コミック、花とゆめ… (この辺はたぶん、先生方のツボにはまるかも・・・)

年齢を重ねるに従って、興味の対象はマンガから小説などにシフトしていきましたが、今でもマンガの価値を否定するつもりはありません。それどころか、いつの日にかノーベル文学賞を受賞する漫画家が現れるのではないかとさえ考えます。

考え方は様々ですが、「読書の入り口としてのマンガ」そしてそこから「文字だけの本へ」という流れも「あり」だと思っています。

最近は映画やアニメを文庫化したものもありますので、それを「読書の入り口にするのも良いですね。

いずれにせよ、読書は「物の見方や考え方」を広げてくれます。今まで読書に親しんでいなかった皆さんも自分なりの「入り口」を見つけて「本の世界」に飛び込んでみてはどうでしょうか。

近いうちに私の「おすすめ本」を本校の図書館においておきたいと考えています。

